# 三沢市移動等円滑化促進協議会　会議録

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 会議名称 | 令和７年度　第２回三沢市移動等円滑化促進協議会 | | | | | |
| 開催日時 | 令和７年１２月２３日（火）１３時００分 | | | | | |
| 場　　所 | 三沢市公会堂　３階　第８・９集会室 | | | | | |
| 出席者 | 会　長 | 安部 信行 | 副会長 | 山﨑 徹 | 委　員 | 村田 倫子 |
| | 委　員 | 小笠原 麻衣子 | 委　員 | 山田 妙子 | 委　員 | 米沢 美幸* |
| | 委　員 | 栃木 仁 | 委　員 | 山本 剛志 | 委　員 | 小笠原 秀和* |
| | 委　員 | 山内 修一 | 委　員 | 村井 拓司 | 委　員 | 相馬 良璽 |
| | 委　員 | 山口 竜太 | 委　員 | 大塚 勤光 | 委　員 | 山本 京子* |
| | ＊代理出席 | | | | | |
| | 事務局 | 三沢市：長根参事兼課長、松森補佐、福田係長、吉田主事<br>株式会社建設技術研究所：山田、木之下 | | | | |
| 欠席者 | 委　員 | 橘 信宏 | 委　員 | 黒沢 のぞみ | 委　員 | 向中野 貢 |
| | 委　員 | 藤田 光彦 | 委　員 | 伊藤 修 | 委　員 | 小林 弘典 |
| | 委　員 | 佐藤 敦 | 委　員 | 角 貴浩 | | |
| 会議次第 | １　開　　会<br>２　案　　件<br>①市民アンケート調査結果について<br>②まちあるき点検調査結果について<br>③当事者ヒアリング調査結果について<br>④三沢市移動等円滑化促進方針（素案）について<br>３　閉　　会 | | | | | |

協議会の経過及び審議結果（概要）

１　開会

２　案件

①市民アンケート調査結果について

＜資料に基づき事務局より説明。＞

【質問・意見等】

山﨑委員：

・バリアフリー対応が重要な施設は、現況を踏まえて対応が不十分という前提で市役所が１位なのか。

事務局：

・市役所は現時点で課題が多く、整備が必要であるという認識が反映された結果である。

また、訪問頻度が高いことも順位に影響していると思われる。

米沢委員（代理）：

・外出時の目的地は、上位を商業施設が占めている。ユニバースとよこまちストアはそれぞれ統合できるのではないか。そうした場合、上位１０施設は何になるか。

事務局：

・よこまちストアの表記の統合は、今後検討する。
自由記述での回答となっており、現計画の表記に合わせてユニバースの店舗名まで記載された回答数と、店舗名が記載されていない回答数をそれぞれ表記した。

②まちあるき点検調査結果について
＜資料に基づき事務局より説明。＞
＜質問・意見等なし＞

③当事者ヒアリング調査結果について
＜資料に基づき事務局より説明。＞

【質問・意見等】

村井委員：

・高齢者や障がい者以外にも外国人等の移動困難者がいるが、本方針では取り上げないのか。

事務局：

・外国人も漏れなく推進していく。また、今回の郵送アンケート調査では多言語対応として英訳版の調査票を作成したため、外国人の意見も収集できている。

村井委員：

・外国人の視点をもってまちあるき点検に参加してもらうのは効果があるように思う。

安部会長：

・ユニバーサルデザインには高齢者や障がい者の他、外国人の視点もあり、「三沢らしさ」という観点で推進できれば良い。

山﨑委員：

・バリアフリーマップの配布場所はどこか。目に付くところに設置した方が良い。

事務局：

・現在バリアフリーマップは更新中であり、三沢市移動等円滑化促進方針の巻末資料に記載

及び市のホームページに掲載などの方法でバリアフリーマップを公開していきたいと考えている。

米沢委員（代理）：

・市民アンケート調査では外出先の多くが商業施設であった一方で、整備は行政施設となっている理由は何か。また、足腰が弱い方から歩行中にベンチが少ないという声を聞いたことがあるが、どのような取り組みがされているのか。

事務局：

・本方針の中で移動等円滑化促進地区を市役所周辺、三沢駅周辺、三沢空港周辺の３箇所で設定しており、その区域内でバリアフリー化を進めているところである。
また、ポケットパークやバス停のベンチ設置など、可能な範囲で改善している。

米沢委員（代理）：

・今回の点検箇所を設定した理由は何か。

事務局：

・資料４「三沢市移動等円滑化促進方針（素案）」Ｐ.４５第４章 移動等円滑化促進地区の設定に示している考えに基づき、市役所、駅、空港の３箇所を設定している。
その中で前回まちあるき点検結果との比較をするために、市役所周辺でまちあるき点検を実施した。

山﨑委員：

・今回の移動等円滑化促進方針と、デマンド交通やデマンドタクシーによる移動の考え方は同一なのか。

事務局：

・デマンド交通は法律が異なり、別途公共交通会議で審議している。
本計画はバリアフリーの解消が主旨であるため基本的には別物となるが、一部は参考にするという考えで進める。

④三沢市移動等円滑化促進方針（素案）について
＜資料に基づき事務局より説明。＞

【質問・意見等】

米沢委員（代理）：

・外出の目的地は商業施設が多い一方で、バリアフリー化は公共施設で進められていることについて、調査結果と更新内容が不整合であると考える。

事務局：

・あくまで外出時の目的地を調査しているため、買い物先の施設が上位を占めている。

米沢委員（代理）：

・利用者が多い商業施設をバリアフリー化した方が、費用対効果が高いのではないか。移動等円滑化促進方針のあとに（バリアフリー）というのは適切なのか。

大塚委員：

・事務局に補足で、市民アンケートの外出時の目的地について買い物施設が多いが、バリアフリー対応が重要な施設の結果では、市役所など市民の利用頻度が高い公共施設が上位にあり、優先的にバリアフリー対応が必要と認識できる。

山﨑委員：

・外出時の目的地で上位の商業施設について、対応が不十分と思われているのであれば助成等の方針を立てれば良いのではないか。

事務局：

・今後調査する上で参考にしたい。

3　閉会

以上